

## 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名： 雇用経済部観光局観光政策課

## 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県営サンアリーナ（伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4）
指定管理者の名称等	株式会社スコルチャ三重 代表取締役 濱田典保
指定の期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	1. サンアリーナの事業の実施に関する業務 2. サンアリーナの施設等の利用の許可に関する業務 3. サンアリーナの利用料金の收受等に関する業務 4. サンアリーナの施設等の維持管理及び修繕に関する業務 5. 前各号に掲げる業務のほか、三重県がサンアリーナの管理上必要と認める業務

## 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	A	—	<p>○施設の経年劣化が進む中、職員が日常的に施設・設備の監視・点検を行い、軽微な不具合や障害に迅速に対応するほか、設備投資により施設の利用環境の改善を図るとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するなど、利用者の安全・安心に資する適切な施設管理を行った。</p> <p>○平成28年度には、伊勢志摩サミットの国際メディアセンターとして、消防・警察を含む省庁関係者やメディア関係者、インフラ関連事業者などと連携をとりながら、国際メディアセンターの円滑な運営に貢献した。</p> <p>○平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催会場として、実行委員会や関係機関と連携し、大会の円滑な運営に貢献した。</p>
H29	A		
H30	A		
R1	A		
R2	A		

## 3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	A	—	<p>○施設全体の利用人数(5か年平均)については、平成29年度に「お伊勢さん菓子博2017」が開催され、約58万人を集客したこともあり、前期5か年平均を上回った(+20.9%、59千人の増)。 ・281,900人(H23～27) → 340,752人(H28～R2) +20.9%、+58,852人</p> <p>○大型イベントとしてコンサートの誘致にも注力する中、特に令和元年度は10件のコンサートを開催するなど、利用者の増加に大きく貢献した。</p> <p>○自主事業では、「プロバスケットボール・Bリーグ」や「フットサルリーグ」のプロスポーツ公式戦のほか、「伊勢志摩ダンスサミット2016」や伊勢志摩国立公園70周年記念事業「志摩半島トレイルランニングレース」等の開催に加え、ボルダリング施設を活用したイベントを実施することで、利用者の増加に寄与した。</p> <p>○令和2年度はコロナ禍でイベント開催が難しい中でも、9月にはフットサルリーグの開幕戦を東京都以外では初めて誘致し、感染防止対策を徹底した上で、無観客で開催するなど、コロナ禍においても施設の利用促進に向けて積極的に取り組んだ。</p>
H29	A	—	
H30	A	—	
R1	A	—	
R2	B		

## 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	1,028,315,827	人件費	377,803,654
利用料金収入	481,420,170	水光熱費	240,662,614
自主事業収入	120,593,862	その他一般管理費	717,989,690
営業外収入	31,390,423	自主事業経費	143,721,414
		消費税	44,614,874
合計 (a)	1,661,720,282	合計 (b)	1,524,792,246
収支差額 (a)-(b)	136,928,036		

※参考

利用料金減免額	27,051,118
---------	------------

## 5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値
H28	C		平均稼働率 (メインアリーナ)	57.0%	65.9%	59.6%	69.0%	55.8%	34.2%
H29	A	—	平均稼働率 (サブアリーナ)	67.0%	75.0%	70.6%	73.3%	69.7%	59.5%
H30	B	—	平均稼働率(会議室等)	20.0%	29.0%	20.5%	17.1%	20.0%	8.5%
			自主事業イベント数	30	30	31	34	30	16
R1	B		利用人数(アリーナ)	256,500	196,636	783,867	221,732	291,946	31,155
			利用人数(会議室等)	25,000	22,584	45,534	20,199	21,466	9,268
R2	C		利用人数(トレーニング室)	15,000	8,853	7,266	9,648	9,321	5,387
			利用人数(フィットネス)	3,500	3,898	4,201	4,518	3,417	2,862
			利用人数(合計)	300,000	231,971	840,868	256,097	326,150	48,672
全期間におけるコメント									
<p>会議室等の利用人数については、平成29年度を除き目標値を下回っており、トレーニング室の利用人数については、全期間で目標値を下回っていることから、利用者の増加に向けて、一層の創意工夫ある取組が求められる。</p> <p>一方で、指定管理者制度導入以前の4年間(H14～17)と第3期(H28～R2)の平均を比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は全ての項目で成果目標を達成することはできなかったものの、メインアリーナの平均稼働率は8.8ポイント上昇し、また全館の利用人数は24.3%増加している。これは、音楽プロモーションや自主事業の拡充など、利用促進取組の効果によるものである。</p> <p>(参考)・メインアリーナ平均稼働率 48.1(H14～17平均)→56.9(H28～R2平均) +8.8ポイント          ・全館利用者数 274,109人(H14～17平均)→340,752人(H28～R2平均) +24.3% 66,643人</p>									

## 6 総括評価

<p>○施設の経年劣化が進む中、職員が日常的に施設・設備の監視・点検を行い、軽微な不具合や障害に迅速に対応するほか、設備投資により施設の利用環境の改善を図るとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するなど、利用者の安全・安心に資する適切な施設管理が行われている。</p> <p>○平成28年度には、伊勢志摩サミットの国際メディアセンターとして、消防・警察を含む省庁関係者やメディア関係者、インフラ関連事業者などと連携をとりながら、国際メディアセンターの円滑な運営に貢献した。</p> <p>○平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催会場として、実行委員会や関係機関と連携し、大会の円滑な運営に貢献した。</p> <p>○大型イベントとしてコンサートの誘致にも注力する中、特に令和元年度は10件のコンサートを開催するなど、利用者の増加に大きく貢献した。</p> <p>○自主事業では、「プロバスケットボール・Bリーグ」や「フットサルFリーグ」のプロスポーツ公式戦のほか、「伊勢志摩ダンスサミット2016」や伊勢志摩国立公園70周年記念事業「志摩半島トレイルランニングレース」等の開催に加え、ボルダリング施設を活用したイベントを実施することで、利用者の増加に寄与した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は全ての項目で成果目標を達成することはできなかったものの、指定管理者制度導入以前の4年間(H14～17)と第3期(H28～R2)の平均を比較すると、メインアリーナの平均稼働率は8.8ポイント上昇、施設全体の平均利用人数は24.3%増加している。</p> <p>以上のように、管理業務の実施状況や施設の利用状況については評価できるものの、一部の成果目標は十分に達成されているとは言えないため、今後、目標達成に向けて、一層の創意工夫ある取組が求められる。また、新型コロナウイルス感染症の影響については先を見通せない状況にあるが、感染防止ガイドライン等の遵守により感染防止対策を徹底するとともに、新たな発想で創意工夫ある取組を行うことで、利用者の定着を図ることが求められる。さらに、老朽化する施設・設備に対して、施設利用に支障をきたすことのないよう、計画的に修繕等を進めていく必要がある。</p>
--

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
  - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
  - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
  - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」  
「5 成果目標及びその実績」の自己評価
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
  - 「B」 → 当初の目標を達成している。
  - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
  - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
  - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
  - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。